

プロスタール錠 25

プロスタールL錠 50mg

【この薬は？】

販売名	プロスタール錠25 PROSTAL TABLETS	プロスタールL錠50mg PROSTAL-L TABLETS
一般名	クロルマジノン酢酸エステル Chlormadinone Acetate	
含有量 (1錠中)	25mg	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、前立腺肥大症治療剤、前立腺がん治療剤に属する薬です。
- ・この薬は、前立腺へのテストステロンの選択的取り込みを阻害し、5 α -ジヒドロテストステロンとアンドロゲン受容体との結合を阻害することによって、抗アンドロゲン作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

【製剤共通】

前立腺肥大症

この薬による治療は根治療法ではありません。期待する効果が得られない場合には、手術療法などが考慮されます。

【プロスタール錠25】

前立腺癌

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要

です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・肝臓に重篤な障害がある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心臓に障害がある人、または過去に心臓に障害があった人
- ・糖尿病の人
- ・髄膜腫のある人、または過去に髄膜腫があった人
- ・腎臓に障害がある人、または過去に腎臓に障害があった人

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

【前立腺肥大症の場合】

販売名	プロスタール錠25	プロスタールL錠50mg
1回量	1錠	1錠
飲む回数	1日2回	1日1回

- ・この薬を16週間使用しても期待する効果が得られない場合には、より適切な治療へ変更されることがあります。

【前立腺がんの場合】

販売名	プロスタール錠25	プロスタールL錠50mg
1回量	2錠	—
飲む回数	1日2回	—

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

【効能共通】

- ・劇症肝炎等の重篤な肝機能障害による死亡例が報告されているため、投与開始後3カ月までは少なくとも1カ月に1回、それ以降も定期的に肝機能検査が行われます。
- ・糖尿病、糖尿病の悪化や高血糖があらわれることがあるので、血糖値や尿糖に注意してください。
- ・この薬の使用後に髄膜腫があらわれることがあります。頭痛、運動まひ（運動や

感覚の機能が低下するなど)、視力視野障害(文字や形がみえにくい、視野の異常など)、脳神経まひ(上手くしゃべれないなど)、けいれん発作(顔や手足の筋肉がぴくつく、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震えるなど)、認知機能の変化(いつもできていたことがうまくできないなど)などの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。画像検査が行われることがあります。

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

【前立腺肥大症の場合】

- ・ポテンツ低下等があらわれた場合には、医師に相談してください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。





重大な副作用	主な自覚症状
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重が増える
血栓症(脳、心、肺、四肢等) けっせんしょう(のう、しん、はい、ししとう)	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる(鮮紅色～暗赤色または黒色)
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
糖尿病、糖尿病の悪化、高血糖 とうにようびょう、とうにようびょうのあつか、こうけつとう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、むくみ、体重が増える、脱力、まひ、体がかゆくなる、急激に体重が増える、体がだるい、力が入らない、食欲不振、体重が減る
頭部	激しい頭痛、めまい、失神、急な意識の低下
眼	目のかすみ、白目が黄色くなる

口や喉	舌のもつれ、しゃべりにくい、血を吐く、吐き気、喉が渇く、水を多く飲む
胸部	息苦しい、息切れ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み
腹部	お腹が張る
手・足	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる、尿量が増える

【この薬の形は？】

販売名	プロスタール錠25	プロスタールL錠50mg
PTPシート		
形状	素錠 	徐放性フィルムコーティング錠 
直径	8.0mm	9.2mm
厚さ	3.1mm	4.6mm
重さ	200mg	283mg
色	微黄色	微黄色
識別コード	TZ276	TZ326

【この薬に含まれているのは？】

販売名	プロスタール錠25	プロスタールL錠50mg
有効成分	日局クロルマジノン酢酸エステル	
添加剤	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、カルメロースカルシウム、タルク、ステアリン酸マグネシウム	メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、クロスカルメロースナトリウム、メタクリル酸コポリマーS、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロースフタル酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、酸化チタン、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問合せください。

製造販売会社：あすか製薬株式会社 (<https://www.aska-pharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：0120-848-339

受付時間：9：00～17：30

(土・日・祝日および当社休日を除く)